

登録コード	BSB81575	開講年度	2026				
授業題目	生命工学演習 (22BS以降)					担当教員	入枝 泰樹
英文授業名	Seminar in Biotechnology					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2026BSカリ, 2025BSカリ, 2024BSカリ, 2023BSカリ						
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					修士論文の取りまとめに必要な専門知識の習得と課題探求能力やよりわかりやすいプレゼンテーションの能力を身に付けることを目標としています。 1．自分の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 2．他人の発表を聴講して、質問ができる。 3．プレゼンテーション用の分かりやすいスライドを作成できる。	
(2)授業の概要	微生物植物相互作用学研究室の構成員全員参加によるセミナー形式で行います。修士論文に関連した学術論文(英語)や植物病理学に関連する最近のトピックスを紹介します。また、質疑応答を通じて専門知識を深めます。 発表者は、発表する論文を資料やパワーポイントにまとめて参加者に提示します。論文から必要な図表を選び、より分かりやすい資料等を作成することを心がけてください。						
(3)授業計画	他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表します。 前期および後期（平日）の時間を有効活用しながら、以下を継続的に実施します。 1．修論テーマに関連した論文の読解 2．論文の紹介と質疑応答 3．他者の発表の聴講と質疑応答						
(4)成績評価の方法	発表内容を判断して総合的に判断します。具体的には、発表に用いる資料のまとめ方(レイアウトの仕方・わかりやすさ・必要な図表を選んでいるかなど)、発表の仕方や発表に関して行われる質疑応答も重要な成績評価の材料となります。						
(5)成績評価の基準	出席、発表内容、聴講姿勢を以下の項目で評価します。 i)科学論文の内容を紹介および他者の論文紹介を聴講し、質疑応答ができる。 ii)科学論文の研究背景を理解し、説明できる。 iii)科学論文の解決すべき課題と解決方法（実験方法）を理解し、説明できる。 iv)科学論文の実験結果・考察を理解し、説明できる。 v)科学論文の内容に対して、自身の考えを述べるができる。 秀 S 5つ全ての項目に当てはまる場合（卓越している） 優 A 4つの項目に当てはまる場合（かなり上にある） 良 B 3つの項目に当てはまる場合（やや上にある） 可 C 2つの項目に当てはまる場合（合格水準にある） 不可 D 1つ以下の項目しか当てはまらない場合						
(6)事前事後学習の内容	プレゼンテーション資料の準備には時間がかかります。計画的に取り組んでください。						
(7)履修上の注意	なし						
(8)質問,相談への対応	受講態度とプレゼンテーション、聴講姿勢を総合的に判断します。						
(9)その他	研究室にて随時対応します。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	特に指定しない。						